

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

笑顔添えて 旬の野菜をお届け

ホームページとサービスの連携で集客強化

平成24年、京商の支援を受けて、二条の地に野菜専門店をオープンしました。まったく異業種からの創業で、取引先もほとんどありません。当初の課題は、お客様にどうやってうちの店を知ってもらうか…ということでした。京商の専門家派遣では、IT活用と店舗デザイン、二人の専門家から「店で買い物する楽しさをもっと伝えては？」というアドバイスをもらい、お客様との対面販売で磨き上げてきた私たちのコミュニケーション力やプレゼンテーション力をどのように発信していくのか、改めて考えるきっかけとなりました。

早速、補助金制度を活用し、西洋野菜のアーティチョークをモチーフにしたロゴ入りのオリジナルレジ袋を作ったほか、ブログ中心だったホームページをリニューアルして、私たちの思いや考え、野菜の美味しい食べ方などを綴って発信しました。レジ袋を掲げて歩くお客様を見て興味を持った人が、わざわざホームページを検索して来店してくれるなど、新たな集客のサイクルを確立することができました。

小売り以外の野菜ビジネスの可能性を追求

昨年には、オーガニック野菜と旬のフルーツを使ったスムージーの販売を始めました。京商の支援による資金調達と補助金制度の活用で、店内を改装してスムージーが提供できるカウンターを設置したほか、ミキサーやショーケースなどの什器を揃えました。味は同じでも形が悪く野菜として売るには適さないものをスムージーにして販売することで、無駄のないサービスを提供し、契約農家さんからの仕入れを増やすことにもつながっています。最近では、野菜を買いに来たついでに、スムージーを飲みながら会話を楽しんでもらう方も多く、地域のコミュニティスペースとしての役割も果たしつつあります。

夫婦二人、経験ゼロの状態から始めた店ですが、京商との二人三脚で野菜専門店として一歩ずつステップアップすることができました。今後も様々な支援メニューを活用しながら、野菜の魅力を発信する新たなビジネスに挑戦していければと考えています。

スムージーの販売を通して、小売り以外の野菜の新たな可能性が見えてきました。将来的には、野菜を中心としたテイクアウト専門の惣菜店を展開したいですね。様々なスタイルで旬の野菜を楽しんでもらうサービスを提供することで、地域の人たちのヘルシーライフを応援したいと思っています。



代表 野口 泰亮さん(右)
奥様 野口 忍さん(左)

企業概要



店内には色鮮やかな旬の野菜や果物が並び



栄養満点！人気のグリーンスムージー

有機栽培や減農薬の旬の野菜を、全国の産地から直接仕入れて提供している。紫色のニンジンや色鮮やかなピーツなど、レストランでしかお目にかかれぬ珍しい商品も揃う。季節のスムージーは、グリーン、ピーツ、ストロベリーを三種を用意。口いっぱい広がる爽やかな味わいが魅力。

マルシェノグチ

代表者／野口 泰亮

住 所／京都市中京区西ノ京職司町1-3

T E L / 075-432-7243 U R L / <https://www.marche-noguchi.com/>